

AIで外国人の在留資格を自動認識可能に

AIソフトウェア開発のスマートテクノロジーズ&リソーシーズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：岩崎学、以下：スマート社）は、2020年4月に施行された訪日外国人向けの免税手続き電子化制度に対応し、訪日外国人の旅券および証印シール（入国スタンプ）をAIで自動認識するソフトウェアを開発、自社サービスである免税システムへの実装および外部システムベンダーへの提供を開始した。

訪日外国人の所有する旅券（パスポート）には、国籍・姓名・性別等を記載したページのほかに、法務省入国管理局が発行する証印シールがもれなく添付されている。

証印シールとは、日本国への上陸許可の際に旅券（パスポート）に貼付されるもので、上陸許可年月日・在留資格・在留期間及び上陸空港名が記載されたスタンプ状のシールである。

特に在留資格と在留期限は重要な情報であり、日本入国の際に空港で上陸審査官から付与され、日本での活動の種類によって、現在、40種類以上の在留資格があり、在留期限もあわせて定められている。

在留資格によって、日本で行うことのできる活動の種類が異なり、無断で資格外の活動（就労活動）を行ったり、逆に許可された活動を正当な理由もなく行わなかったりした場合は、退去強制や在留資格の取り消し処分の対象となる。



証印シールのイメージ画像（出入国在留管理庁の公開サイトより引用）

日本の免税販売時には、この在留資格および在留期限を、店舗の販売員が目視し、日付や資格をもとに非居住者であることを確認、消費税免税販売を行っているが、店員の目視確認であることや、当該シールの文字が小さく、また、旅券の添付ページも探しにくいなど、販売員にとって大きな業務負担となっており、正確かつスピーディーに証印シールの情報を取得する手段が求められていた。

スマート社が開発したAI ソフトウェア部品「SmartDetax Passport Reader Library」は、旅券の国籍ページだけでなく、証印シールも瞬時に自動スキャンし、正確に在留資格や入国日付をデジタル化しシステムに取り込むことができる。稼働環境のOSは、iOS・Android・Windows に対応。

さらに、国籍ページに添付された顔写真のみをトリミングし、カメラ前にいる本人の顔と比較照合し、そのパスポートと提示した者が同一人物であるかどうかも瞬時に判定するための顔認証エンジンも同時にリリース。パスポート、在留カード、マイナンバーカード、マイナンバー通知カード、運転免許証、健康保険証にも対応。

これらの技術を組み合わせることにより、免税手続きの自動化や非接触化のみならず、無人レジ、宿泊、レンタカー、医療、各種行政等、訪日外国人向けの各種サービスにおけるデジタル化、自動化、非接触化が実現可能となる。

スマート社がすでに提供している免税電子化システム「スマートデタックス」は、既に 10,000 ライセンスを突破し、免税システムにおける圧倒的なシェアとなっている。

今回の証印シール情報の自動読取や顔認証機能により、同シェアがさらに伸びるとともに、コロナ禍以後の訪日外国人向けサービスの DX 化の強力な支援ツールとして、行政機関・一般企業・各種ソフトウェア会社等への提供を展開、2021 年度において 120 万ライセンスの出荷を見込んでいる。

スマートテクノロジーズ&リソーシズ株式会社

代表取締役 岩崎 学

東京都渋谷区松濤 1-9-13

TEL : 050-3623-3383

製品サービス名 : スマートデタックスパスポートリーダーライブラリー

製品サービス英名 : SmartDetax Passport Reader Library

紹介サイト : <https://smartdetax.com/>



Smart
Detax